

営者を講師に迎えた「後継者養成講座」をスタートさせる。同大学では、実家が中小企業を営む学生が多く、先達から経験談や、やりがいを聞くことで、進路選択の一助にしよう狙いがある。

来年度講座 大阪産業創造館と

中小企業を支援する大阪産業創造館(大阪市)と合同で実施。2006年度中小企業白書によると、中小企業約2000社中約360社が「事業を引き継ぎたいが、候補者がいない」としており、企業の援護策を考えを巡らせる同館と、学生の「就活」支援に悩む大学の思惑が一致した。

4月開講で全14回。対象は全学部・学年で、大阪市内の金属加工メーカーや洋食レストラン、老舗のお茶屋など様々な経営者9人が講師に顔をそろえる。

講義内容は、若い経営者が社員と奮闘し、倒産の危機を救った苦労話や、業界の常識を打ち破って新規事業を開拓した成功体験などが語られるという。

同大学によると、就職内定率の低迷を受け、家業を継ぐことを考える学生が増えているとい、同大学経営戦略研究科は「事業継承は一つのビジネスチャンス。後継ぎでなくても起業を考

現役経営者講師 やりがいや苦労話

伊丹

伊丹市盆梅を展「がの伊丹郷れた人たぶりを真。料。

同地区